

「誠実な医療」実現のために、 労働環境整備や職員の 技術向上へ投資を

地方独立行政法人 市立東大阪医療センター

所在地： 大阪府東大阪市西岩田三丁目4番5号

病床数： 520床

診療科数： 36科



課題

- 電子カルテ端末ではセキュリティ対策上インターネット閲覧はできないため、業務で調べ物をするとき、職員は図書室を訪問して書籍検索を行うかインターネット端末がある部屋に移動する必要があり、移動時間や待ち時間などの非効率が発生していた。
- インターネットでの検索には情報のばらつきがあり、その情報の信頼性精査は、各職員に委ねられていた。

解決策

- 電子カルテ端末から「今日の臨床サポート」へアクセスできる体制を整備し、調べ物のための移動を少なくする。
- エビデンスに基づく「今日の臨床サポート」を情報元に用いることで、情報の質と信頼性を担保する。

成果

- 電子カルテと「今日の臨床サポート」を連携し、図書室やインターネット端末のある部屋に移動する手間をかけず、カルテを見ながら疾患情報などを参照できるようにした。その結果、全職種で業務の効率化を達成した。
- 疾病に関する情報に加えて、診療報酬や薬剤に関する情報も同時に調べられるため、看護師やメディカルスタッフの資料作成などの業務にかかる時間の短縮を実現した。
- 部内の情報共有に「今日の臨床サポート」を活用し、チーム全体の時短効果にも貢献した（看護師、メディカルスタッフ）。

二次文献データベース 「今日の臨床サポート」を導入し、 様々な職種で業務効率を改善

地方独立行政法人 市立東大阪医療センターは、大阪府中河内地域に位置するモノづくりの町、高校ラグビーの聖地である花園ラグビー場を有する町として知られる東大阪市の中核病院です。2019年に大規模なICU・手術室の改修を行い、中河内二次医療圏地域の救急医療、がん、循環器疾患、難病、周産期医療に加えて、COVID-19診療を担っています。

センターの理念として「誠実な医療」を地域の人々に掲げ、以下の5つの基本方針を定めています。

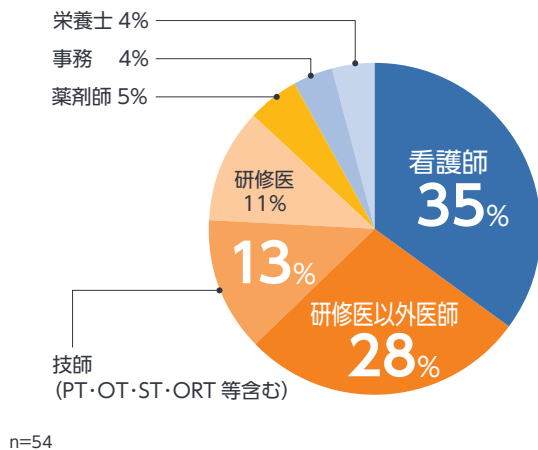
1. 市民に信頼される、安全・安心な質の高い医療を提供します
2. 患者さんを中心とした多職種協働を実践・推進します
3. 地域の医療・保健・福祉等の機関と連携し、地域医療の充実に貢献します
4. 豊かな人間性と確実な技能をもった医療人を育成します
5. 透明性の高い、効率的な病院経営に努めます

地域医療の中核病院として責務を果たしていくうえで、人材確保は喫緊の課題のひとつです。より良い人材を確保するため、労働環境の整備や職員の技術向上への投資を積極的に行っています。「今日の臨床サポート」を2021年3月より導入したこともその一環です。

全職員を対象に導入効果の検証アンケートを実施

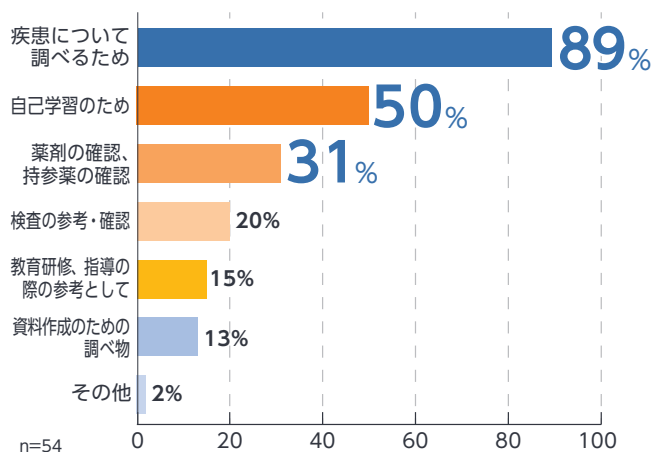
導入効果を検証するため、施設内の利用者全員を対象にアンケート調査を行いました。看護師、医師、研修医、技師と幅広い職種からの回答を得ました。

回答者の職種



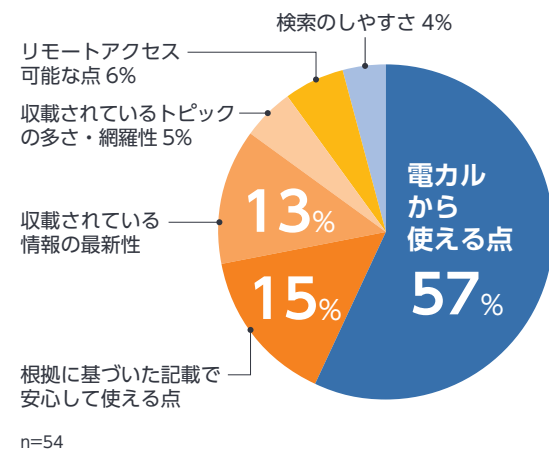
約 9 割の職員が疾患について調べるために「今日の臨床サポート」を活用し、また 5 割の職員は自己学習にも活用しています。

「今日の臨床サポート」の利用目的をお選びください。(複数選択可)



『1つだけ「今日の臨床サポート」の良さを選ぶとしたら?』という質問に対しては、半数以上の職員が「電カルから使える」という利便性を回答。「根拠に基づいた記載で安心して使える」「収録されている情報の最新性」といった点を評価する声も多く見られました。

1つだけ「今日の臨床サポート」の良さを選ぶとしたら、どれが当てはまりますか

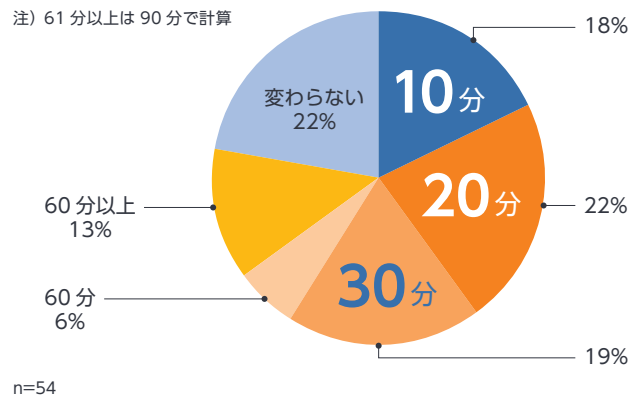


「従来の調べ方と比較して、調べものに費やす時間をどれくらい短縮できたか」を訊ねる質問では、回答者の約 8 割が何らかの時間短縮を得られたと回答しました。平均で 27 分短縮できたという結果でした。

「今日の臨床サポート」を利用した場合、従来の調べ方(書籍を参照したり、図書室に移動し資料を探すなど)と比較して、1日あたりどれくらい時間短縮になりましたか

加重平均：27分短縮

注) 61分以上は90分で計算



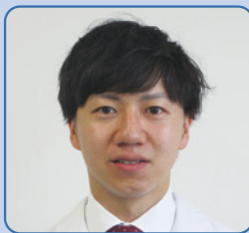
アンケート対象者：市立東大阪医療センターにおける「今日の臨床サポート」利用者様全員
 アンケート期間：2021年9月、11月
 回答人数：54名(9月、11月合算)
 回答方法：「今日の臨床サポート」製品内(9月)、外部オンラインフォーム

職員の方々に話を伺いました



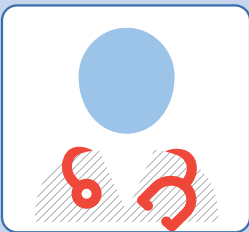
医師の声 神経内科 西川 徹 先生

専門外の領域について最新の治療法や鑑別診断の進め方を確認するためによく使っています。「今日の臨床サポート」の導入前は書籍や自作メモを確認していましたが、それを調べるのに10～20分かかるし、さらに教科書を確認したり論文を探したりして2～3時間かかることも。外来はもちろん、入院も専門外の症状をもつ患者さんも多くいるので、とても助かっています。



研修医の声 初期研修医 橋本 巨司 先生

自己学習によく活用しています。自分が詳しくない既往症のある患者さんが来たときに調べて「こういう所見があるのか」と知識を広げたり、ある症状の原因鑑別をするときにはまず「今日の臨床サポート」で調べて、その内容を自身で検討してから鑑別診断を上げたりという形で使っています。医療計算機もあり、たとえばクレアチニンクリアランスの計算もパッとできるので便利です。「今日の臨床サポート」にアクセスできない状況のときにインターネットで調べものをするもありますが、情報の正確性を担保するために余計な時間がかかりますね。



研修医の声 初期研修医 藤原 可奈子 先生

ほぼ毎日1回は「今日の臨床サポート」を開きます。活用するタイミングとしては、救急外来で初診患者さんを診察するとき、入院患者さんにどのような疾患があるかを確認するとき、特定の疾患の疑いがある検査項目を確認するときなどです。勤務がある日はいつも活用しています。



看護師の声 田上 悠子 主任

コロナ病棟には幅広い基礎疾患をもつ患者さんが入ってくるため、疾患について調べる機会が増えています。「今日の臨床サポート」だと疾患名はもちろん、「腹痛」のような症状名で調べられるので便利です。調べたいことがボンヤリしていても「今日の臨床サポート」にキーワードを入れれば、知りたい情報に近づくことができます。知りたいときに電子カルテからすぐに調べられるのも助かります。なにか疑いがあれば医師に共有したり診療放射線技師に連携したり、チーム医療にも活用しています。



看護師の声 新田 薫 師長

電子カルテを見てすぐに検索できるので、知らない疾患があったら検査について調べて、ドクターが何をしようとしているかを確認したり、先の見込みをつけたりするために活用しています。治療方針がわかればドクターとの会話で意図をつかみやすくなりますし、入院期間の見込みがだいたいつけば、必要に応じてソーシャルワーカーと連携する等の退院支援にも繋げることができます。院内のスタッフ全員が共通認識として使える内容なので、スタッフにも安心して「今日の臨床サポート」で確認して対応するようにと伝えることができます。



メディカルスタッフの声 栄養管理科 山口 佐智子 栄養管理士

NST 専従栄養士として、ドクター、看護師、薬剤師とチームを組んで栄養サポートをしています。カンファレンスで患者さんの経過をまとめて他職種の方に伝えますが、臨床に関することは管理栄養士の知識だけでは難しいので、調べながら準備します。以前は本を調べたりインターネットに繋がった端末を利用したりしていましたが、今は電子カルテから「今日の臨床サポート」を参照できるので時間削減になっています。内容は奥深いですが専門用語ばかりでなく、メディカルスタッフでも利用しやすいです。



メディカルスタッフの声 栄養管理科 田中 智子 科長

管理職として部下と話すときに「今日の臨床サポート」を見ながら話したり、講演用に資料作成したりするときに活用しています。インターネットだとどの情報が最新かわからないし、古い情報や誤った情報を使ってしまう懸念もあり、その判断にも時間がかかります。「今日の臨床サポート」は最新ガイドラインの内容や検査値の見方が詳しく載っているので信頼性が高いです。



メディカルスタッフの声 リハビリテーション技術科 住井 亮太 主査

専門外の分野について分からないことがあったら「今日の臨床サポート」に疾患名や検査名などキーワードを入力して確認します。またリハビリテーション科では毎回の治療後に診療報酬をもとにコスト算定をしますが、その際にも活用しています。たとえば初めて見る病名が「心臓リハビリテーション」に該当するか、そのようなことを「今日の臨床サポート」で確認して、日常業務を進めています。電子カルテと同じ端末で開くことができるので、ひとつの端末で診療記録作成と調べ物を同時に進められるのは大きな利点です。

職員の所属は 2021 年 12 月時点での情報です



エルゼビア・ジャパン株式会社 ソリューション営業本部
〒106-0044 東京都港区東麻布 1-9-15 東麻布1丁目ビル3階
TEL: 03-3589-6372 公式ホームページ: <https://info.clinicalsup.jp/>
公式ホームページ内問い合わせフォーム
<https://www.elsevier.com/ja-jp/clinical-solutions/clinicalsup-contact-us>



今日の臨床サポート概要

エビデンスに基づく二次文献データベース。国内のエキスパートによって執筆された医療情報が、ネットからも電子カルテ端末からもアクセス可能。日常診療を十分に網羅する豊富な情報で、臨床現場での疑問を素早く確認できます。

今日の臨床サポート で検索